

- ☆全国学園セネストで闘うぞ！  
☆国大協路線粉碎！  
☆産学協同路線粉碎！  
☆大学の帝国主義的再編粉碎！  
☆大学の帝国主義的再編粉碎！

# 進

1月15日(水)

第四号 1部 20円

東大闘争全学共闘会議  
事務局機関紙発行

予備号

☆加藤近代化路線粉碎！

☆入試強行阻止！

☆日共民青の闘争破壊実力粉碎！

☆全学バリケード封鎖貫徹！

## 1.15 再編と全面対決の闘いを！

# 東大全共闘闘争宣言

再編と全面対決の闘いを！

東大闘争は、全国の学園・階級闘争の大きな旗頭となっている。入試強行をアーチュア大学への復帰の道を遮るのか、それとも、全学の労働者と連帯して、帝国主義日本と帝國の対決するかといった問題に立っている。我々は、前者の道を進むとする日共・民青の反革命を粉砕し、東大闘争に対する一切の弾圧を止めて、東大闘争の勝利と全学の正義を守るために、奮闘している。

東大全共は、来る一・二五年を東大闘争と全国学園争奪勝利を目指す「東大闘争ブルジョアジー」と全面的に対決する道を選んである。

東大全共は、学生と共に實業的・政治的に闘うこと意図する。

一・五・一 東大闘争・全国学園争奪勝利記念会

佐藤首相は加藤新代行に入試強行を命令し、加藤は、右翼秩序派、民青全分の問題に拘束させ、「自由闇争」という形での、東大闘争の收拾と全学の正義を企てている。

しかし、全学共闘会議により、えぐり出された佐藤六

年の根本的矛頭は、何で「解消」されてしまう。なぜ、東大に反撃され社会的矛盾であるが故に、權力にとっては解決しないものとしてある。東大は常に労働者と共に歩み、労働者・人民に敵対してきた。故に、

学内での解決は「即時解消」は東大のブルジョア大学としての存続の回復にのみなものでない。佐藤・加藤の「自主解決」路線の本質は、帝国主義大の復活である。

東大闘争は、その本質を通して、日本帝國主義そのものに対する抗争にまで、その質を高めつづけ、その魔的

とならつてある。そこで、權力は、その魔力をあけて、東大闘争の正義を自ら主導している。

日本共産党は、教育の特権的利害のみを合理化して

いた「大学の自治」「研究の自由」に依拠して、そこの

学生参加を主張する「大學民主化」路線を抜け、佐藤

が、東大闘争の反対的質の高まりを歓迎し、それ

を真に担ってきた全学に敵対し、帝國主義者として

の本質を暴露しては、当然なことである。

彼は、今、我々の抱げた希望が、勝ち取られ

ていない段階に於いて、エゴイズミックな自己の喜び

体調内に於ける腰痛等のみを宣張して、「一般学生」「庶民」などと名乗る。日本共

産党への日共・民青の人は複数闘争全体に対する反人

民的敵意である。この日本共産党的暴力的政策活動

行為は、革命生命を賭け行なわれている。それが70年に向

けて「レロニキ」を「民青」の組織形態を

定めた。日本共産党は、東大

闘争へ日共・民青の人は複数闘争全体に対する反人

民的敵意である。この日本共産党的暴力的政策活動



# 入試

收拾策動を粉碎し

# 全国学園闘争の深化へ

## 一、現局面とその方向

# 東大闘争の方針と展望

## 全国学園闘争連合

### 戦後科学者運動論

内山和朗

## 科学主義の自己幻想を破壊し

反体制運動の創出を

## 戦車と自由

トマス・カーリー著  
著者訳

みすず書房

300円

pp. 117

